

定期発行物「安全安心社会研究」



2011年3月創刊

ISSN : 2186 - 5582

安全安心社会研究センターの活動とその成果を内外に紹介するとともに安全安心社会に関する学内、学外の研究者間での研究成果や情報共有を図るプラットフォームとしての役割を果たすことを意図して発行しています。

【創刊号】2011年3月発行

安全安心社会研究 第9号 (2021年9月発行)

「特集 未知の事象への対策」4編

2020～2021年は長い将来 COVID-19の年として記憶されることと思います。これは「未知の事象」との遭遇の一つと考えられます。これからは様々な未知の事象への対応が必要となるでしょう。特集では4氏にこの問題を論じていただきました。また、他の寄稿にも関連した記事が集まりました。

【他】・調査研究：1編

・安全安心社会の古典を読む No.8

・海外書紹介 No.7

・OB投稿：1編

・センター客員研究員活動報告：14編

・センター活動報告

安全安心社会研究センター特別講演会

安全安心社会構築のための様々なテーマを取り上げた特別講演会を定期的（年2回）に開催しています。

第1回 (2009年1月7日開催)

「安全・安心技術と原子力利用」

第2回 (2009年12月23日開催)

「安全安心社会のためのシステム安全」

第3回 (2010年12月23日開催)

「安全安心社会のためのシステム安全」

第4回 (2011年7月9日開催)

「安全安心社会のためのシステム安全」

第5回 (2011年12月23日開催)

「産業安全運動百周年とソフトウェアの安全」

第6回 (2012年6月24日開催)

「システム安全修了生博士論文紹介と製品安全について」

第7回 (2012年12月23日開催)

「安全安心社会のためのシステム安全」

第8回 (2013年7月13日開催)

「医療・レスキュー・防災関連の安全」

第9回 (2013年12月23日開催)

「長岡技術科学大学の安全関連国際規格開発活動」

第10回 (2014年7月6日開催)

「最新製品の安全」

第11回 (2009年12月23日開催)

「安全基本規格と安全マネジメントの最新動向」

第12回 (2015年7月5日開催)

「子どもの安全を考える」

第13回 (2015年12月23日開催)

「大規模・複雑主題 なシステムの安全」

第14回 (2016年7月10日開催)

「システム安全の原点に立ち返って」

第15回 (2016年12月23日開催)

「経営リスク・チャンスとシステム安全」

第16回 (2017年7月8日開催)

「生活空間のリスクとシステム安全」

第17回 (2017年12月23日開催)

「安全安心社会とシステム安全」

第18回 (2018年7月7日開催)

「第13次労働災害防止計画とシステム安全」

第19回 (2018年12月23日開催)

「ロボットの活用と安全」

第20回 (2019年7月6日開催)

「今求められる技術者倫理」

第21回 (2019年12月21日開催)

「使用者への情報提供と安全」

2020年7月の特別講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、大学の方針、参加者および関係者の健康・安全面を第一に考慮した結果、中止といたしました。

第22回 (2020年12月12日開催 ※オンライン)

「新しい安全解析手法」

第23回 (2021年7月10日開催 ※オンライン)

「人の特性を考慮した設備の安全化」

安全安心社会研究センターホームページ

講演会案内情報やこれまで発行された定期発行物「安全安心社会研究」の記事をご覧ください。その他、学内外のスタッフ・有識者からの記事や論文も掲載しています。

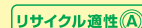
長岡技術科学大学 安全安心社会研究センター

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1

TEL:0258-47-9754(直)

URL: <https://safety.nagaokaut.ac.jp/>

E-Mail: info_safety@vos.nagaokaut.ac.jp



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



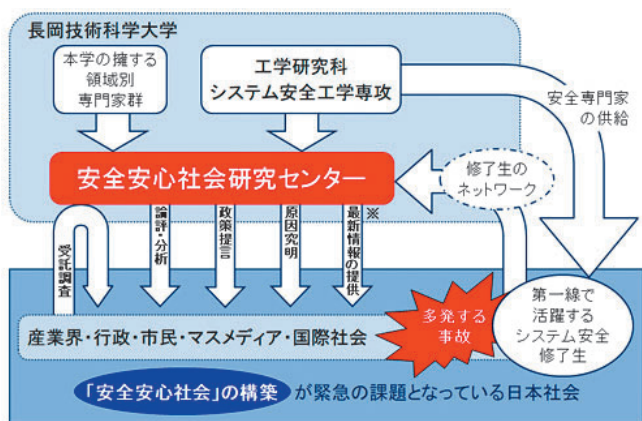
Research Center for Safe and Secure Society
安全安心社会研究センター

安全安心社会研究センターについて

長岡技術科学大学は、2006年4月、専門職大学院として、技術経営研究科システム安全専攻を創設しました。同専攻は、国際的なシステム安全の諸原則に基づく専門教育プログラムとして、日本で初めて、かつ唯一の存在であり、また、2008年3月には教育プログラムが完成年度を迎え、システム安全専門家の第一世代を社会に輩出することになりました。

この機をとらえ、システム安全の専門家集団としての教員団の知見と社会の第一線で活躍する修了生を中心とする人的ネットワークを生かして、製品や施設で発生する事故や安全管理に関する第三者専門家の立場からのタイムリーな論評・分析、安全安心社会構築のための政策提言等の情報発信を行うとともに、幅広い調査研究を行う組織として、2008年4月1日に、「安全安心社会研究センター」を設置しました。具体的事業として、以下の事業を行うことを目的としています。

- (1) 事故に関する調査分析とその結果の公表
- (2) 安全安心社会の構築のための調査研究事業
- (3) 安全安心社会の構築のための啓発、社会人教育事業
- (4) その他前項の目的を達成するために必要な業務



※ 安全安心社会研究センター主催講演会(年2回)、定期発行物「安全安心社会研究」発行

最近 10 年の長岡技術科学大学における安全安心社会の構築に向けた取り組みの歩み

年	本学の動き	社会全体の動き
2012年	3月 「安全安心社会研究」第2号発行 小千谷市と原子力安全対策支援パートナー協定締結	4月 厚労省が、機械譲渡者等が行う機械に関する危険性等の通知の促進に関する指針を公表
	4月 大学院修士課程に「原子力システム安全工学専攻」	9月 原子力規制委員会発足
2013年	3月 「安全安心社会研究」第3号発行	2月 PM2.5対策で国が暫定指針
	8月 高専教員・学生を本学に招き「安全基礎工学」の講義を実施	4月 第12次労働災害防止計画(2013年度～2017年度)スタート 7月 原発の安全対策の新規制基準が施行 8月 気象庁が「特別警報」の運用を開始
2014年	3月 「安全安心社会研究」第4号発行	4月 厚労省が安全技術者への教育プログラムを提示。その中で、システム安全エンジニア有資格者は全てを修得しているとみなした
	10月 「生活空間の高度リスクマネジメントのためのエビデンス情報基盤構築」プロジェクト始動(JST/RISTEX)	6月 労働安全衛生法改正 消費者安全法、景品表示法の改正法が成立・公布 9月 川内原発1,2号機が安全審査に合格 11月 サイバーセキュリティ基本法が成立
2015年	3月 「安全安心社会研究」第5号発行 システム安全専攻修了生が100名を超える	1月 内閣に「サイバーセキュリティ戦略本部」、内閣官房に「内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)」が設置される
	10月 SSE資格制度：システム安全アソシエイト第一回試験を実施	4月 子ども・子育て支援新制度スタート 8月 川内原発1号機が再稼働、原発ゼロ解消 9月 国連で持続可能な開発目標(SDGs)が採択 10月 横浜でマンション傾斜、基礎工事のデータ改ざん発覚
2016年	3月 「安全安心社会研究」第6号発行	1月 個人情報の保護に関する法律に基づき、個人情報保護委員会が内閣府の外局として設置される。マイナンバー制度運用開始
	8月 高専フォーラムにてシステム安全のワークショップを開催	6月 改正労働安全衛生法施行
	9月 SSE資格制度：システム安全サブエンジニア第一回試験を実施	10月 マイナンバー制度スタート
2017年	8月 高専フォーラムにてシステム安全のワークショップを開催 高専教員・学生向け出張講演「システム安全の基礎」を実施	1月 改正育児・介護休業法施行 3月 安全保障関連法が施行
	8月 高専フォーラムにてシステム安全のワークショップを開催 高専教員・学生向け出張講演「システム安全の基礎」を実施	8月 私大医学部で不正入試発覚相次ぐ 4月 第13次労働災害防止計画(2018年度～2022年度)スタート 12月 改正出入国管理法が成立
2019年	3月 「安全安心社会研究」第7号発行	3月 厚労省、機能安全教育の通達
	8月 高専フォーラムにてシステム安全のワークショップを開催 高専教員・学生向け出張講演「システム安全の基礎」を実施	4月 働き方改革関連法が順次施行 6月 改正児童虐待防止法成立(翌年4月施行)
2020年	3月 「安全安心社会研究」第8号発行 高専教員・学生向け出張講演「システム安全の基礎」を実施	1月～ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界的大流行 3月 新型コロナウイルス対策の特別措置法が成立 4月 改正民法、労働基準法改正(働き方改革関連)、改正健康増進法、改正意匠法(知的財産権等)などが施行 4-5月 緊急事態宣言(1回目)が発令 6月 「改正道路交通法」施行、「あおり運転罪」創設 7月 レジ袋有料化スタート 8-9月 東京オリンピック・パラリンピック1年延期 11月 中災防が労働災害防止団体や安全衛生関係団体と連携し、働く人の安全・健康を守るための安全衛生教育を支援
	3月 システム安全専攻修了生が200名を超える	2月 新型コロナウイルス感染症の医療者ワクチン接種始まる
	4月 システム安全工学専攻に改組	
	9月 「安全安心社会研究」第9号発行	